

## 令和5年度 倫理研究シラバス

教科名	科目名	対象	教科書・副読本
公民	倫理研究 (3年：2単位)	3年	「倫理」 東京書籍 「ステップアップ 倫理」 第一学習社 「最新図説 倫理」 浜島書店

### 1. 学習目標

人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

### 2. 年間学習計画

学期	月	(備章) 大単元	指導内容	指導のねらい	調査範囲	配当時間						
1 学 期	4 月	第1章 青年期の課題と自己形成 青年期は悩み多く不安な時期です。しかし、にもかかわらず、青年期は豊かな可能性を秘めた夢多き時期でもあります。それをどのように生きるか、青年期の自己形成の課題は何か。そうした青年期について考えることから始めます。	1 青年期の意義 ①わたしたちの「いま」 ②青年期の位置づけ ③青年期の特徴 2 青年期の課題と生き方 ①主体性の確立 ②自己理解 ③幸福と生きがい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ライフサイクルの中で、青年期はどのような位置にあり、どのような発達課題があるのかを考える。</li> <li>・ 青年期の心身の特徴を把握させ、青年期の悩みの心理的特徴に気づかせ、悩むことが自己形成につながることを理解する。</li> <li>・ 生きがいとは何か、生徒各人の問題としてとらえさせ、「いかに生きるか」という倫理学習の基本的課題に結びつける。</li> </ul>	1 学 期 中 間 考 査	1 1  1 1 1						
							第2章 人間としての自覚 ～思想の源流から学ぶ～ ギリシア思想、古代イスラエル人によるユダヤ教・キリスト教、インドに生まれた仏教、中国の儒教などそれぞれ独自の性格をもち、その後の人類の生き方に大きな影響を与えるようになりました。これらの思想は、人生観や世界観のさまざまなタイプを私たちに示し、私たちは「人間の自覚」のさまざまな姿を学び、人間や人生について自ら考える出発点にします。	1 人間とは何か ・ 人間の特質とは何かを理解させる。  2 ギリシアの思想 ・ ギリシアの思想家のものの見方・考え方を理解させることにより、古代ギリシアの思想は、私たちにとってどのような意味をもつのかを考える。  3 キリスト教 ・ イエスの思想をユダヤ教と対比させて、愛の神・律法の内面化という視点を中心に理解する。  4 イスラーム ・ イスラームはどのようにして誕生したか、ムハンマドの教えにはどのような特徴があるのかを理解する。 ・ イスラームは、ユダヤ教やキリスト教とはどのように関係するか、について理解する。  5 仏教 ・ インドの人々はどのような死生観を持っているかを理解する。 ・ ゴータマの教えは、深い思索を続ける生き方そのものであることを理解する。  6 中国の思想 ・ 儒教思想・道家思想の現代的な意義について知る。 ・ 中国の人々の自然観・人生観を理解する。  7 芸術と人間 ・ 芸術と人間との関わりについて考察する。	1          2 学 期 中 間 考 査	1          4   1		
	6 月	2 ギリシアの思想 ①ソクラテス ②プラトン ③アリストテレス	・ イエスの思想をユダヤ教と対比させて、愛の神・律法の内面化という視点を中心に理解する。	1 学 期 期 末 考 査	5  3							
						3 キリスト教					・ イエスの思想をユダヤ教と対比させて、愛の神・律法の内面化という視点を中心に理解する。	1
	7 月	5 仏教	・ インドの人々はどのような死生観を持っているかを理解する。 ・ ゴータマの教えは、深い思索を続ける生き方そのものであることを理解する。	4								
					6 中国の思想 ①儒家思想 ②老荘思想	・ 儒教思想・道家思想の現代的な意義について知る。 ・ 中国の人々の自然観・人生観を理解する。	4					
7 芸術と人間	・ 芸術と人間との関わりについて考察する。	1										

学期	月	大単元 (備・章)	指導内容	指導のねらい	調査範囲	配当時間
2 学期	9 月	第3章 国際社会に生きる日本人としての自覚 国際社会に生きる私たちにとって、異なる民族や文化をもった人々との相互理解は大きな課題となっています。日本と日本人についての知識を深め、日本人のものの考え方やその特質は、どのように形成されてきたのかみていきます。世界に貢献できる日本の伝統と、自己の人間形成に関わる文化的な理解を深めていきます。			2 学 期 中 間 考 査	2
		1 日本人の精神風土 ①日本人のものの考え方 ②日本人の宗教観 ③日本人の倫理観	・日本人の精神的特性が、日本の風土とどのように関連しているのかを考える。	5 5		
	1 0 月	2 外来思想と日本の伝統思想 ①仏教と日本人の思想形成 ②儒教の日本的展開	・仏教や儒教が日本にどのように伝えられ、どのように変容していったのか、その大きな流れを把握する。 ・鎌倉仏教の各宗派の教義や特色を理解する。 ・日本人の庶民思想や勤労倫理の特質はどこにあるのかに気づく。 ・幕末思想の特質をつかむ		2 学 期 期 末	2 2 2
		3 西洋思想と日本人の近代化 ①近代への啓蒙 ②近代的な自己の確立 ③創造的な思想	・文明開化が日本の伝統社会にどのような変化をもたらしたかを把握する。 ・日本の近代思想がどのように展開していったかを理解する。	1		
	1 1 月	4 国際社会に生きる日本人の自覚	・日本思想のまとめとして、国際社会に生きる日本人の生き方について考える。		1	
	1 2 月	第4章 現代に生きる人間の倫理 私たちのものの考え方や価値観には、科学的なものの見方や、民主的で自由な社会の実現など、近代以降の西洋社会において育まれた自然観や人間観を反映しているものが多くあります。私たち自身のものの考え方や価値観を見つめ直すためにも、近代西洋にみられる自然や人間のとらえ方を探求します。				1
1 2 月		1 現代とはどういう時代か	・現代の思想を理解するための素地をつくる。	2 3 1 2		
3 学 期	1 月	2 人間の尊厳 ①人間尊重へ向けて ②合理的精神の確立 ③社会契約説 ④人格の尊厳—カント—	・人間の尊厳と自由にかかわる思想家の思索を通して、西洋の近代人は、人間の尊厳をどこに見出していたのかを考える。 ・ベーコン、デカルトによる科学的な考え方の特色を理解する。 ・近代ヨーロッパの社会契約論を通して、民主社会の成り立ちを理解する。		1 2 2	1 2 2
		3 民主社会の倫理 ①ヘーゲルの人倫の思想 ②功利主義 ③社会主義思想	・ヘーゲルの人倫の思想から社会のあり方について考察する。 ・ベンサムとミルの幸福に対する考え方の違いを理解する。 ・社会主義の思想について知る。			
	2 月	4 新たな人間像の模索 ①主体性の回復を求めて ②現代の実存哲学 ③フランクフルト学派 ④人間と言語観の問いなおし	・実存主義・フランクフルト学派・構造主義など現代思想の人間観を理解する。	1 1 1 1		

### 3. 学習方法

- 授業は教科書や資料集を中心に進めていきます。
- 授業の中で、先生方が準備したワークシートや倫理ノートを完成させます。
- 解答し終えたワークシートは、ファイルにつづっていきます。このファイルや倫理ノートを予習や復習に活用しましょう。
- 学習内容に応じて図書館やインターネット等も活用しながら学習を進める場合もあります。日頃から新聞に親しみ、現代社会の倫理的諸問題について関心を持つようにしましょう

### 4. 評価の観点

本校では、次の四つの観点でみなさんの学習評価をします。

観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
評価	人間尊重の精神と自己形成について関心を高め、人格の形成と生きる主体としての自己の確立に努める実践的意欲をもつとともに、これらにかかわる諸課題を探求する態度を身に付け、人間としての在り方生き方について自覚を深めようとしているか。	生きる主体としての自己の確立について広く課題を見だし、人間の存在や価値などについて多面的・多角的に考察し探求するとともに、良識ある公民として広い視野に立って主体的かつ公正に判断しているか。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などに関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択して、これらを自己形成に資するよう活用するとともに、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現しているか。	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方などにかかわる基本的な事柄を、生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格の形成に生かす知識として身に付けているか。

### 5. 評価の方法及び評価資料

本校公民科倫理では、次のように評価していきます。

- 日々の授業態度やワークシート、倫理ノート、宿題などの取り組み状況。
- 中間・期末などの定期考査や、単元のまとめとして行われる単元テスト。
- 夏休みや冬休み等の長期休業中の課題。
- 課題追究学習におけるレポートや発表資料等。

これらを学習課程ごとに設定された学習到達目標に照らし合わせて総合的に判断し、評価を進めていきます。